

館 報

# おおく寺

— おもな内容 —

- 2面……幼児教育について
- 3面……子ども達のために
- 4面……家庭教育学級開設
- 5面……館長就任あいさつ
- 6面……美術展のご案内
- 7面・8面……みんなの広場

発行編集 大熊町公民館  
印刷所 新栄社写真美術印刷



元気にはしゃぐ熊町幼稚園児

## よい子は うたう

屋根より高いコイのほり  
大きいマコイはおとうさん  
小さいコイは子供達  
おもいそくに泳いでる

子供は国の宝であり、世界の宝である。みんなて祈ろう  
子供の幸せを。そして丈夫でくんぐん育つことを。

生涯教育の起点

幼児教育について

教育長

乳幼児期は人間一生の土台を形成する重要な時期であり、生涯教育の起点でもあります。

町教育委員会では、昭和五十年度大熊町教育委員会重点施策として特に、「乳幼児を対称とする家庭教育学級」の開設をかね、幼稚園保護者会を中心とする二学級を開設して本格的に乳幼児教育の振興をはかることとなりました。

① 県・町教委の乳幼児対策事業 県及び町教委が現在公教育事業



大野幼稚園児の学習

として実施している事業は次の通りであります。

● 家庭教育相談事業 (県教委)

三才児の第一子を対称に、はがき通信による指導、巡回指導テレビ放送による相談指導などを行っています。

● 大熊町幼稚園 (町教委)

大野幼稚園 七七名 三学級 (四才児二七 五才児五〇) 口熊町幼稚園 九八名 四学級 (四才児五三 五才児四五)

● 家庭教育学級 (公民館)

大野家庭教育学級 熊町家庭教育学級

② 家庭教育のお願い

乳児期は、心も体も未成熟であり、親の愛情と配慮によって自然的生物的存在である新生児が、人としての特徴を備えるようになる時期であり、幼児期は社会環境の広がりの中で外部からの種々なはたらきかけが行われ、子どもが社会的、文化的存在として資質を伸ばして行く時期であります。

一親が子に対して行う私的な家

庭教育をよろしくお願いいたします。

③ 教育態勢の一貫性について

町教委では、家庭教育、幼児教育、学校教育、社会教育の一貫した態勢整備に全力をつくしております。

父兄はもとより、町内の皆様方の心からのご協力をお願いいたします。



大熊中PTA会長に

佐藤祐禎氏

昭和五十年四月、大熊中の新校舎落成と同時に旧大野分室、熊町分室が統合し新校舎に移った。

また、これによってPTAもこの程統合され、大熊中PTA初代会長に佐藤祐禎氏(小良浜)が推挙された。

なお、氏は今後の活動について次のような手記を寄せられた。

梅雨期の衛生

梅雨期にはいると長雨が続き、むし暑く、うとうとしい毎日がくり返される。この期は高温多湿で日光に乏しいうえ夜も短かく精神的肉体的変調をきたしたり病気になることが多い。

そこでどのような注意が必要かを考えてみよう。

● 雨具——防湿のため室内に持

ち込まない。

● 上衣類——しめっぽくなつたものは日光あるいはア

● 肌着——毎日とりかえ、洗たくする。

● 食——食欲をたかめるくふうをする。食品の選択——消化がよく、栄養価が高いもの。

● 食中毒の防止——化膿した手指、ねずみ、はえ、油虫、冷蔵庫の長期保存物に注意する。

訳であります。

法的にも財政的にも何ら保証される所のないこの団体が、時として大きな力を発揮する場合があります。それは多くの会員が生徒のために没我的協調が出来る、それであろうと思います。相互信頼によって協調が生れ、協調する所に

団結がなされ、団結によって偉大な力となりPTA本来の目標、即ち「父母と教師が対等の立場で家庭、学校、地域社会における生徒の幸福の増進に協調すること」にPTA会員一同懸命に努力する覚悟でございます。

学校は建てられたものすべて教育環境も整っておりません。私達会員の総てを結集してよい条件をつくるためにその筋に働きかけたいと思います。町民皆々様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

あけ会員を代表してのご挨拶と致します。

# ごあいさつ

大野小教頭 佐々木 孝



今回の異動により福浦小(相馬)より五年ぶりで双葉にもどってまいりました。

初めて当地に参りまして感じましたことは地域の皆さまが初対面の私に対し心あたたかく接していただけることとであります。

申しあげるともなく私達教職員は皆さまの大事なお子さんを、お預かりしまして、よりよい社会人となる基礎を育てあげることが課せられた使命であります。そのためにも、何と申しまして、家庭や地域社会の皆さまと胸きんを開いて親しく話し合い意見を交換し合ってください。初めて思うような教育もなし遂げられるわけでありませぬ。

そうしたことを考えてみると皆さまと何の気かねもなく、どんな事でも話し合えるふんいきが強く望まれる訳であります。この点、当地では大変心強く思っております。

次に感じましたことの二つ目は子ども達が素直で明るく元気でありいつもはつらつとしていて大変気持ちよいということです。とかく町場の子どもは、おとなしく思っております。

## 町内教職員異動

今年四月一日付で町内小中学校の先生方が次のように異動されました。

子どもの幸せを込めて、それぞれの立場で指導に当られます。

ご父兄の皆様も何かにつけてご協力下さいますようお願い申し上げます。

### 大野小学校

転入

教頭 佐々木孝 (担任)

教諭 広畑昇 五年一組

富樫研二 特殊学級  
矢内玲子 一年二組

を縮めたようないわゆる「型」にはまった子になりがちですが、やはり子どもには子どもの世界があるように、子どもには子どもらしさがなければならぬと思えます。

だから、うれしい時にはうれしいうるいはしゃぎ、しっかりとやらなければならぬ時は真剣に物事に当っていくという態度や心構えがなければなりません。

そういった健康で品のよい本校の子どもたちの、よりよい点をますます伸ばしていきたいものだと考えております。

おわりに、着任して感じました二つの点を申しあげ、今後の教育活動について、皆さま方の一助のご理解とご協力をお願いいたします。ごあいさつといたします。

教諭 神長倉鏡子 四年一組  
門馬治 六年一組  
講師 新妻二雄 (転出先)

転出

教諭 坂本トミ子 富一小へ

佐藤隆 太田小  
山崎公三 中村一小

退職

講師 齊藤重徳

教諭 戸浪たまこ

助 樋口則昭

### 熊町小学校

転入

教諭 志賀操 特殊学級

教諭 杉本幹雄 五年生

吉田政雄 三年三組

養護 石田ミツホ

教諭 根本たつ 六年生

石井孝子 四年一組

主事 佐々木絹子 事務

転出

教諭 吉田ヨシイ 富二小へ

安斉大覚 浪江小

山内フサ子 川内一小

### 大熊中学校

転入

教諭 鈴木照久 一年国、体

講師 福尾稔 保体

転出

教頭 三瓶忠二 教育センター

岸重夫 浪江中

亀田知子 富二中

志賀成子 富二中

松浦一彦 檜葉中

志賀伸子 浪江中

根本三男 久の浜二小

幼稚園 小中学校 PTA 役員

町内小中学校のPTA総会がそれぞれ開かれ、今年度の役員が次の通り決まりました。

今後PTA(父母と先生の会、あるいは、家庭と学校)を通し子ども達のために諸活動が行われます。会員相互のご理解とご協力をお願いいたします。

大野幼稚園(会員数七七名) 会長 猪狩豊子 大川原四

## おしらせ

町内幼稚園及び学校の電話番号が一部変わりましたのでお知らせします。



大野幼稚園	2002
熊町幼稚園	2014
大野小学校	2002
熊町小学校	2054
大熊中学校	2056

副 渡部けい子 野上三  
熊町幼稚園(会員数九八名) 会長 中山貞夫 夫沢一

副 富田睦子 夫沢三  
大野小学校(会員数三四九名) 会長 小野田正身 野上三

副 菅野祐一 下五  
熊町小学校(会員数二六六名) 会長 松永久子 熊川

副 高田甲明 大和久  
大熊中学校(会員数三八四名) 会長 佐藤祐禎 小良浜

副 佐藤脩 大和久  
副 坂本金義 下四

# 幼児教育を考える

## 幼稚園に家庭学級を開設

昭和五十年度における大熊町家庭教育学級は、先生、父兄の絶大なご協力を得、大野、熊町両幼稚園に開講することになりました。特にマスコミのはんらん、家庭構造の変化等、揺れ動く現代社会において幼児教育並びに青少年教育の重要性がさげばれておりますが、その中でも人間形成の基盤ともいべき幼児期の家庭教育の重要性を再認し、いかにあるべきかを学習するため、大野、熊町幼稚園児の全父兄を対称に二学級を開設することになったものです。

なお、主な学習課題及び開講式は次の通りです。全父兄もれなく出席されることを願っております。

### 学習課題

- 幼児期の教育は、なぜ重要であるか。
- 子どもの成長過程における親の理解について。
- 幼児期の人間形成と家庭環境について。
- 子どもの心理としつけ方について。
- 子どもをのばす父母の役割と生活態度について。
- 幼児期の知能発育と栄養、偏食、食事マナー等について。
- マスコミと子どもの成長について。

### 開講式

熊町家庭教育学級  
日時 五月二十日 午前十時

## お願い

### ◆公民館使用

について

公民館を使用される場合は予め所定の用紙により申込み、許可を得てから通知を出すようにして下さい。

なお、条例の定めによ

### ◆体育館使用について

体育館の使用についても公民館と同様とします。

なお、来る六月より毎週月曜日は休館といたしますのでご協力下さい。



始球式(上)をする町長さんと

優勝した駅前チーム(下)

この村の 日和静かに 日和静かに 日和静かに  
日和よく 草の芽萌ゆる 音静か 善子  
初雪の 大喜びでと なりにけり ひとのつぎきて 逝きし春 光子  
身近なる ひとのつぎきて 逝きし春 光子  
久々に 訪ねし川や セリ匂ふ  
森かげの 地蔵に供へ 蓬餅

## 少年ソフト大会 駅前が優勝

初めての試みとして第一回大熊町少年ソフトボール大会が、去る四月二十九日(天皇誕生日)旧大野中学校校庭でにぎやかに行われた。

当日は町長さん始め区長さん、審判員等多数のご出席をいただき意義ある大会となった。

場所 熊町幼稚園舎  
講話 幼児教育はなぜ重要か  
講話 前浪江中学校長  
矢沢 一 先生  
大野家庭教育学級  
日時 六月十五日予定  
場所 大野幼稚園舎

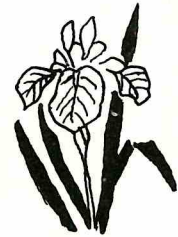
特に町長さんのあいさつの中には、来年度は是非町長杯を設け年中行事の一つとしたいと、社会体育に対する熱意の程を示され、少年達は来年も出来ると大喜びであった。

成績は次の通りです。

第一試合  
熊 10 — 3 町  
駅前 42 — 13 大和久  
準決勝  
熊 13 — 4 夫沢  
駅前 14 — 5 大川原  
決勝  
駅前 2 — 1 熊

## 俳句

冬柏 風に秘めごと ある如し 日却伸ぶ 信子  
書肆までの 足はづみおり  
さゝ波の 模様石の わかれ霜  
盆梅の 四圍に真白く 散り敷きぬ 貞夫  
雪解けや 月ゆれながら 野を渡る 強く匂ふに 馬鈴薯をまく 安子  
土の香の 強く匂ふに 馬鈴薯をまく 安子



鶴鳴きて 騒立つ木々や 二月盡 七ツ  
残りゐて 日向がすべて 沈丁花 政美

# 心を育む社会教育 館長就任にあたりて

大熊町公民館長 高野昭二



このたび四月一日の人事異動により公民館長を仰せつかりました

役場にお世話になって十二年、産業課、水道課と主に現業関係を歩いて参りましたので社会教育など夢だに考えたこともありませんでした。非常に幅の広い、奥の深いこの仕事をこなせるかどうか、もとより浅学非才の身、まさに螳螂の斧を以て龍駕に向うの心境でございます。心もとなないものがございます。心も皆さんの暖かい御指導と御声援を唯一のたよりに与えられたポジションを死守したいと考えております。

「報恩」とか「謙譲」とか、ややもすれば美徳の消え去ろうとしている若い世代の人々の心に一度、それを呼び戻すことができたら、と悲願を胸にスタートライ

ンに立ちました。町を美しくするにも、交通事故を無くすにも、或いはまた私達の周囲より暴力を開放するにも、物質的な、物理的な措置対策だけでは解決でき得ないと思います。社会教育の重大性を痛感しております。今後の御協力をお願いすると共に町民皆さんの尽きぬ御多幸をお祈り申し上げます。

## みまもる母

つねづねいつも思っていることの一つであるが、母親はいつも勉強をし、子どもの成長を考えたいものである。また今さかんに幼児教育のたいせつさが論じられているが、「幼児教育をするまえに、母親の教育をしないでならぬ」と思う。

先日、ある本を読んでいるうちに、こんなことが強く印象に残った。ある有名な病院長さんが、母親から受けた静かな愛情が、いかに子どもだった病院長さんの心に浸透したとか。

ある夏の日、風通しのよい座敷で母の膝枕で読んでくれたお伽話のかずかず、これで読書の楽しみを覚えたとか。  
また小学校の終業式の時、賞状や免状をもらった際、そっと涙ぐんで見ていた母の姿を見て、母はこんなに喜んでいてくれたのか、勉強しなくちゃと奮起や決心を強くしたそう。

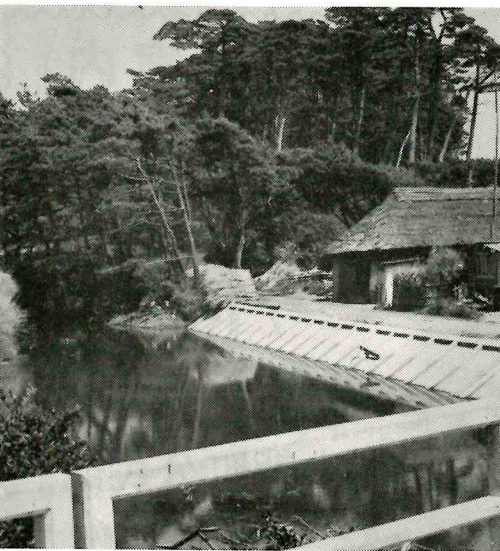
また旧制中学校に入った時、寄宿だったので土曜日に帰宅した時の「お帰りなさい」と涙をためて出迎え見つめる母の眼を見て、口に出していわないが元気で帰ったことを喜んでくれた母。

また学期はじめに、掛け布団にまあたらしい木綿のえりカバーを四・五枚重ねてつけてくれた。汚れたら一枚ずつはがしてもち帰るよう、洗濯のいが手な男の子のことを考え工夫してくれた母。

このような母親は、ごく普通の母親のできることで、特別なことをしたわけでないが、この病院長さんの子ども心に、いかにほげまじやささえになったことか。

私は思う。百の説教より、この母の静かなみまもりと、つつみこむ愛情の何と効果のある教訓だったことか。平凡な生活の中に、子どもの心をゆさぶるような愛情を示してやりたい。そして、自分を忘れて、子どもの今をより幸福にするよう骨折ってやりたいと思う

大川原 一主婦



小入野川と  
亀が森

## 民話

### 鶴が森・亀が森

むかし、小入野の里は海の水が細長く入りこんで、人々は周囲の高台に四〜五軒ずつの家をつくり貝や魚や、山野から鹿やその他の動物を捕えて暮らしていました。そのうちにだんだんと海の水が引いて、谷あいには小川が流れる様になったので今度はこの水でお米をつくってたべ

るようになりまし。海の水が引いたとき小川に沿った谷間に二つの丘が浮かび出て松やその他の木が育ちはじめました。上手の丘には鶴が多く集まって住んでいたの、里の人々は鶴が森と呼ぶようになりまし。川下の丘は海に近いので、多くの亀が上って来ては群れ住んでいます。

んで仙台藩に運ぶ船が熊川沖で難破してな、熊川から小良浜の浜辺に椿の種が一ぱい打上げられたのよ、椿の木は浜風に強いし、椿油は貴重なので植えたのが小良浜と小入野の椿並木だよ。

里の古老は、鶴が森・亀が森と並べて椿並木をこのように語っています。



# 小高森老人クラブで総会

## 部落高令者大学として活動

下野上一・二区の高令者で組織する小高森老人クラブで、去る四月二十日総会が開かれ、昭和五十年度の事業計画がたてられた。この老人クラブでは、公民館の助言もあり部落高令者大学として盛りだくさんの行事が行われております。特に年に数回は家庭の嫁さんも集まり、手料理を作って懇談するなど、老人の幸せを込めて部

落ぐるみの活動として、他から注目されている。これからも永く続けられることを願うと共に町内全域に普及させたいものです。  
なお、次の方々が役員として活動の世話に当たっております。

- 会長 武内武雄 下野上一
- 副 〃 大山勝蔵 〃
- 〃 猪井 勇 下野上一
- 〃 〃 〃 下野上一
- 会計 松本幸一 下野上一

### 生活改善センターにおいて 事業計画を審議するクラブ員

- 青年と余暇活動
- 青年と仲間づくり
- 民族資料の調査と収集
- 文化財学習(含郷土史)
- 体育レク活動(自然探勝等)
- 研修旅行、その他

- 学級長 吉田信也(大和久)
- 副学級長 高村光子(下五)
- 会計 亀屋信子(夫二)
- 書記 渡辺陽子(熊二)
- 企画部長 渡辺一明(熊)
- 副部長 松永秀篤(熊川)
- 広報部長 太田明孝(町区)
- 副部長 神田仁子(熊川)
- 主な学習内容

なお役員は次のとおり決まりました。  
昭和三十九年度青年学級が四月二十三日に開講され、学級生数25名で出発した。今年度は学級生の共同学習活動と相互教育の促進を運営方針とし、学習(活動)主題である文化財愛護と仲間づくりを中心とし年間約一五〇時間を予定している。

### 青年学級開講

- 幹事 二瓶 清 下野上一
- 脇坂 充 下野上一
- 吉田 達治 〃
- 末永 義久 〃
- 加藤 喜平 下野上一
- 松本 直衛 下野上一
- 武内 キヌイ 〃
- 松本 カナ 〃
- 武田 シノブ 下野上一

### 民俗資料

#### 収集中です

前号で民俗資料収集の主なるものを掲載しましたが、文化財保護法では民俗資料を次のように定義している。

「衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習及びこれに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件でわが国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの」

さらに、同法ではこの民俗資料を、有形のものと無形のものに区分して、有形の民俗資料を指定して保護することとし、無形民俗資料のうち、特に必要なものに

### 高令者大学

#### 開講式のお知らせ

昭和五十年大熊町高令者大学の開講式を次により実施いたします。近所の仲間をお誘いのうえご出席下さい。

五月二十六日 九時三十分

大熊町公民館

## 美術展のご案内

つぎにより福島県総合美術展覧会を開催することになりました。県内の優秀作品を展示いたします。ご期待下さい。



とき 7月5~8日  
ところ 大熊町公民館

展示作品 日本画—18点  
洋画—32点  
書道—10点  
県内入選作品 60点

◎ 絵画教室並びに書道教室を開く予定です。



# 自然食を

## 見なおそう

現代の食糧事情は、終戦直後とくらべて非常に豊かになってきたが、最近体によく加工食品が大分出廻っており、自然食が見直されてきたようである。

食生活が便利になり、手間は省けてたずかるが、あまり即席にたより過ぎて点もあるようだが、でも体に害がないならまだしも着色剤とか、防腐剤とか、合成保存料だとかはよく耳にするこ

とばであり、健康には害があるようである。幸いにも、私どもの農村では、自然に恵まれ、今まであまりかえりみられなかった柿の葉などは、どこの家にもみられるものである

五・六月頃の青々とした葉には、その作用によって壊血病を防ぎ、血管をやわらかく強くし、胃腸障害などに効果があるそうで、その青汁は高血圧によいとされる。

また、しそにはビタミンA・鉄分、カルシウムがあり、その上防腐の働きもあり整腸や貧血にも効くそうである。このように、価値のある自然食は数えればまだまだあるが、大いに利用してすばらしい健康体をつくるように努力しようではないか。

せんか。身近にある物をもっとたいせつに研究していくのも意義あることである。

大川原一老人

### 困ったゴミ処理

先日部落民が用水堀の人足にてた。誰もが感じたのは川に流されるゴミの数々である。何回か館報で論ぜられているが一向によく

ならない。ある人がいった。「川の上に金網をはるしかない」と。川に流すことよって自分の所はきれいになるが、これによって迷惑することなど考えられない人々がいかに多いことか。

(人足に出た男)

### 学生の

#### ハイヤー下校

ある店で品物を買っていると、小学校三年生ぐらいの女の子が入って来て電話をかけた。間もなくハイヤーが店先にとまった。四人の女の子もたちはその車にのって帰っていった。その日は天気もよし、病人らしい子どももいなかった。親さん方はどんなに考えることだろう。

(元教員)



「喜」という字が好きで、よく色紙に書いたりする。壁にははってからは、はずすことが出来ない。はずすと何かしら喜びが全く無くなるような気がするからだ。

喜の字は昔とも書く、喜は七が基本となっている。三七で二十一になり、西洋ではツイーンティワンとラッキーセブンが一番喜ぶ。だからと云って公務員の月給日を二十一日にしたとは思わない。

日本にも古来からの習慣に七五三のお祝があり、七ツの海、七ツボタン、七歳入学、七色唐辛、七福人、人間生れた時のお七夜、十七歳の喜の字の祝、死んだ時の初七日、七七の四十九日の冥福を祈る。

死んだこと迄喜につなぐのはと

### チューリップと

#### 池田さん



## ときの話

下野上の池田徳治さん宅の庭先には、約千球ほどのチューリップの花が香りも高く咲き誇っており、訪れる人の目を楽しませてくれる。栽培を始めて十余年たやすことなく部落にも普及するなど、チューリップ栽培は年毎に高まっている。また、一昨年は部落の人々が先祖のふるさと富山県入善町を訪問した際お土産にいただいたのがキツカケとなり下野上の小高森老人クラブにチューリップクラブも誕生させた。これは感謝の気持ちをいつまでも忘れないように、そして部落が花で飾られ、きれいな町になることを願っている。

異論もあろうが、しかしそれは、年令と考え方で不見識とはならないと思う。

七月七日の七夕は中国の仙人牛郎、織女のお話があり、又蘆溝橋事件勃発の日で第二次世界大戦の口火となった日であり、全く七の字は人間生れてから死ぬまで離れられない因縁を持っている。

年の始は七日までを松の内とい、人間の頭部には七つの穴があると云う、即ち耳の穴二ツ、鼻孔二ツ、目二孔、一孔は口である。喜と善はよく似た字体である。凡て善意を以て事にあたれば自ら喜び事に恵まれるということから

### 大正の納税表彰状

#### 大滝栄三郎氏より寄贈

表彰状

双葉郡大野村大字下野上 大野駅前納税組合

組合長ノ指導宜シキト組合員ノ納税義務尊重トニ因リ大正七年度中各納期ヲ通シテ完納セリ 依テ金拾九円八拾銭ヲ交付シ茲ニ之ヲ表彰ス

大正八年四月二十二日

福島県双葉郡大野村長脇坂綱治郎

# 天気予報

- ※夕焼け空……空一面の夕焼け空は間違いなく快晴です。
- ※朝焼け空……太陽が昇る頃、東の空からの朝焼けは、湿った空気に作用して起こるものですから、昼頃までに一雨あると思つて間違ひありません。
- ※早朝の雨……夜から降りつづいてるのでなければ、午前中におさまります。
- ※太陽が真紅に見える……この状態は、湿った空気の作用です。雨の用意をします。
- ※月が赤く見える……同じように湿った空気のしわざです。雨が降るでしょう。
- ※月が白く見える……これは空気がカラカラに乾いているときに晴れます。
- ※月が青白く見える……天空に薄い雲が出ていますので、雨のしるしです。
- ※月にカサができる……赤っぽいカサは雨の予告です。また、このカサが小さいときも同じように雨です。大きいカサの場合は晴天が予想されます。
- ※星がボンヤリする……空一面のちりばめたような星空なら晴天。かすんで、大きな星だけがボンヤリ見えたときは、湿った空気の影響とみて雨天でしょう。



※虹が見えたら……朝早く虹が見えたら雨になり、夕方の虹なら晴れです。

※煙を見る……山小屋の煙が垂直に上り、そのまゝ消えていく状態なら晴れのしるしです。

この煙が上に行かず、下へたれる感じのときは雨でしょう。

※風の方向で知る……一般に西からの風は天気的好転を意味し、東風は悪化します。

## 親切な方々

先日夕方私は鼻血が出てとまらなかつた。私はその中とまるだろうと別に気にもとめなかつたが家族の人たちはビックリしてハイヤーを頼もうと電話をかけたが、農集の悲しき一向に通じない。やむなく道路を走っていたエレカ電車の自動車で頼んで大野病院に運ばれた。今交代される先生と看護婦さんは親切に手当を下さつた。おかげで鼻血は間もなく止つた。血圧も一五〇ぐらいのことであるが、私にしては少々高かつた。自動車を運転された方も、お

医者さん、看護婦さんもみんな親切な人ばかりで私は心から感謝した。(M生)

## 「蛇」にご注意

このあいだ大川原の農家の主婦が山菜とりに行つてまむしに噛まれ重体、厚生病院に入院したといよ／＼蛇の季節になりまして。山菜取りや草薺、水田の水とりなど蛇のいる場所を歩くことが多くなります。まむしに充分注意しましょう。

もし、まむしに噛まれたら噛まれた所に最も近い所をきつく縛り更にそこから少し離れた所をもう一ヶ所きつく縛つて医師に診て貰うことです。時間がたてばたつて程毒が体中に廻つてしまうので急いで医師に治療を受けるよう心がけましょう。

## 皆んで加入しよう

### スポーツ傷害保険

町では、ケガをした場合の救済保険としてスポーツ傷害保険の加入をすすめておられますが、大変よいことだと思います。

私も昨年スポーツ中にケガをして始めて「加入しておけばよかった」と感じたが、すでに遅かつたのです。毎年町民体育祭もあることだし、わずかの金で入れるのですから是非部落ぐるみで加入

し、楽しい町民体育の祭りにしたものです。

なお、保険の加入手続きなどについて公民館報(前号)に詳しく掲載されておりましたが、あなたもご覧になりましたか?

農家の主婦

## 本を読もう

視聴覚はやりの現代、読書は見はなされがちだが、自らの教養を高めるためには、やはり良書を熟読することをおすすめしたい。

幸い公民館には図書室もあり、その利用者も多く図書も充実されつゝ、あると聞く、読書の秋などと云わずに一度訪れてみてはいかがでしょう。

## 感心な話

下野上に小野田さんという独りぐらしの老人がいる。若い時は働きてで人々の世話をした人であるが、今は年老いて淋しくその日を送っている。まだ目は達者なので新聞や雑誌を読んでいる。近所の岡田さんが毎日自分の読んだ新聞を届けてあげる。そして時折耳の遠いこのおじいさんに町の話なども聞かせてくれる。老人福祉は金ですむわけではない。岡田さんのような人にどんなにか敬意を表していることだろう。(下二区住民)

## 館報を編集する

### 人と人

わずか八十五号の「館報おおくま」であります。十六年の歴史を持ちます。

その間、吉田農夫雄氏を中心に編集が進められ、住民各位と密接なつながりを持つよう努力されて参りました。

四月一日の人事異動で、この編集は高野昭二に引継がれましたがその歴史を前進させ、内容の充実のために努力いたすことをお誓いいたします。

どうか陰に陽に絶大なる御支援を賜りますようお願いいたします。また昭和五十年度の編集委員を次の方々をお願いいたしました。倍旧の御協力を切にお願い申し上げます。そして皆様の建設的な御意見を是非お寄せ下さいますように。

### 編集委員

- 井戸川 佳正 (下五)
  - 松本 幸一 (下一)
  - 志賀 栄子 (大川二)
  - 浜本 レイ (夫二)
  - 松永 久子 (熊川)
  - 小林 登 (野上二)
  - 永井 ミネ子 (教委)
- 編集責任者  
高野 昭二 (館長)
- 編集係  
島 晃重 (事務局)
- 酒井 正直 (〃)